

日坂宿

にっさかしゅく

至 粟ヶ岳
長松院
●河合宗忠の墓
●大須賀鬼卵の墓
●伊藤東海の墓

至 夜泣石
金谷宿



日坂IC

常現寺

- 遠州三十三観音第八番札所
- 片岡清兵衛供養塔

開
金山神社

秋葉常夜燈



本陣跡

(本町)

問屋場跡 ●



池田屋

●日坂郵便局

(下町)

藤文



萬屋

弘法の井戸

(旧坂口町)

●旧石垣 水路跡

旧東海道

二の曲り
(沓掛)

開日乃坂神社

至 小夜の中山
久延寺

●日坂小学校

法讃寺

- 成瀬大域の碑
- 成瀬大域の書
- 聖徳太子堂



相伝寺

- 遠江三十三観音霊場
二十一番札所
- 片岡清兵衛の墓
- 延命日限地藏
- 千浦地藏
- 庚申塔

秋葉常夜燈

下木戸跡



糎屋

川坂屋茶室
川坂屋

高札場

書家成瀬大域
出生地碑



秋葉常夜燈

(古宮)

開
若宮神社

本宮山

旧東海道
(薬師寺一箇園百) 道標

415

日坂バイパス(国道一号线)

ことのままトンネル



ことのままはちまんぐう
事任八幡宮

至 掛川宿

至 八坂IC

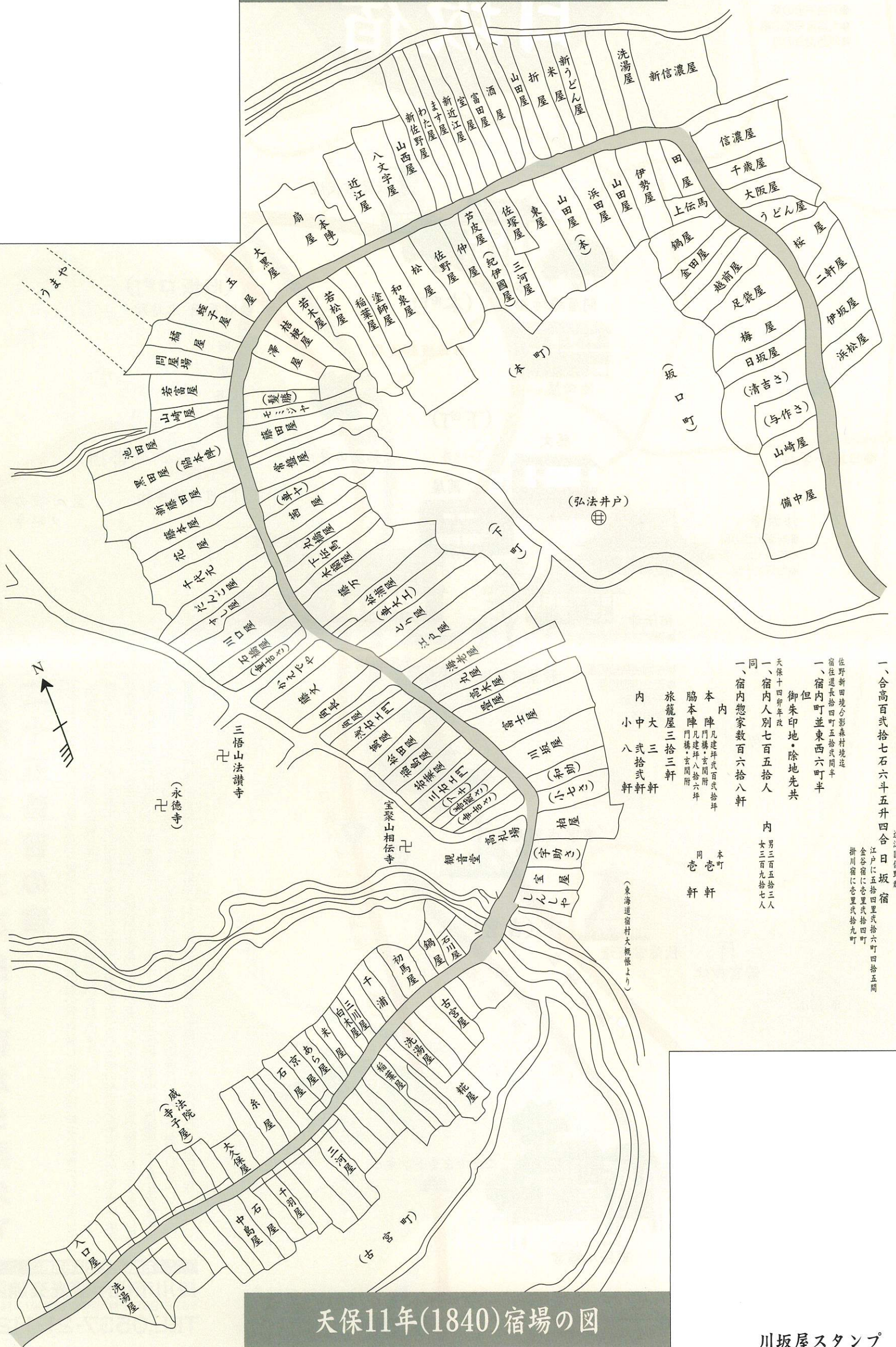
東海道五十三次 品川宿から数えて 二十五番目の宿

江戸から五十四里余。日坂は東海道三大難所の「小夜の中山峠」西の麓に位置し、西坂、入坂、新坂とも書かれていました。「日坂宿」の初見は、鎌倉時代、延慶元年(三三〇)の「夫木和歌抄」といわれています。慶長六年(一六〇)徳川家康による、東海道の整備にともない、問屋場が設けられ、伝馬の継ぎ立て駅としての日坂宿は、重要な存在になりました。助郷四十三ヶ村の協力で、伝馬百足と伝馬人百人がおかれ、役人の公用と荷物の輸送に役立てられました。天保十四年(一八四三)の記録によれば、家数百六十八軒、人口七百五十人とあり、本陣軒、脇本陣軒、旅籠屋、十三軒がありました。大井川の川止めや、大名の参勤交代などで、小さな宿場町ではありましたが、かなりの賑わいであったと思われまます。宿場の東口から西口までの距離は、およそ六町半(七〇メートル)町並みの形態は現在もあまり変わっていません。

お問い合わせはお気軽に

掛川市役所観光交流課
〒436-8650 静岡県掛川市長谷1丁目1-1
TEL.0537-21-1121

茶と歴史の里 日坂へようこそ



東海道

山上藤一御代官所

一、合高百貳拾七石六斗五升四合 日坂宿

遠江国佐野郡 江戸に五拾四里貳拾六町四拾五間
金谷宿に壹里貳拾四町
掛川宿に壹里貳拾九町

佐野新田境分影森村境迄

宿住連長拾四町五拾貳間半

一、宿内町並東西六町半

御朱印地・除地先共

天保十四卯年改

一、宿内人別七百五拾人 内 男三百五拾三人 女三百九拾七人

同 一、宿内惣家数百六拾八軒

本陣 凡建坪貳百貳拾坪 門構・玄關附

脇本陣 凡建坪八拾六坪 門構・玄關附

旅籠屋三拾三軒

内 大 三 貳 貳 軒

中 貳 拾 貳 軒

小 八 軒

本町 本陣 同 巷 軒

(東海道宿村大概帳より)

天保11年(1840)宿場の図